

地質ニュース

昭和 38 年 7 月

第 107 号

1963

特 集	工業原料鉱物 ④	
	石 灰 石	河田茂磨・1
トピック	世界の貝類展	大山桂・9
	時価 2 億 3,000 万円の 工業用ダイヤモンド	砂川一郎・12
講 座	花粉のゆくえ ⑩	徳永重元・16
	空中写真地質講座 ⑪	松野久也・21
	地質調査事業の先覚者たち ⑫	
	日本の地質学の創始者—ナウマン—	今井功・25
	やさしい地質学 ①地球の誕生	小村幸二郎・30
海外事情	オーストラリア大陸を尋ねて ⑬	大町北一郎・34

編 集 地質調査所

表紙の写真

輝石かんらん岩 (埼玉県秩父郡朝日根)

写真は関東山地の古生層を貫き 三波川変成作用をうけたといわれるかんらん岩の一つ 白く生地をなすのは普通輝石 大小さまざまな形の暗色の粒は かんらん石の偽晶で いまはこまかい蛇紋石(アンチゴライト)の集りとなっている かんらん石の残晶はそのなかに白く光る このように 大きな結晶(輝石)のなかに 小さな粒状の結晶(かんらん石)が散点する構造をポイキリティック組織と呼んでいる しかし 輝石かんらん岩は必ずこの組織を示すとはかぎらない (SP)

発行 株式会社 実業公報社

日本光学万能投影器 十字ニコル (約30倍)